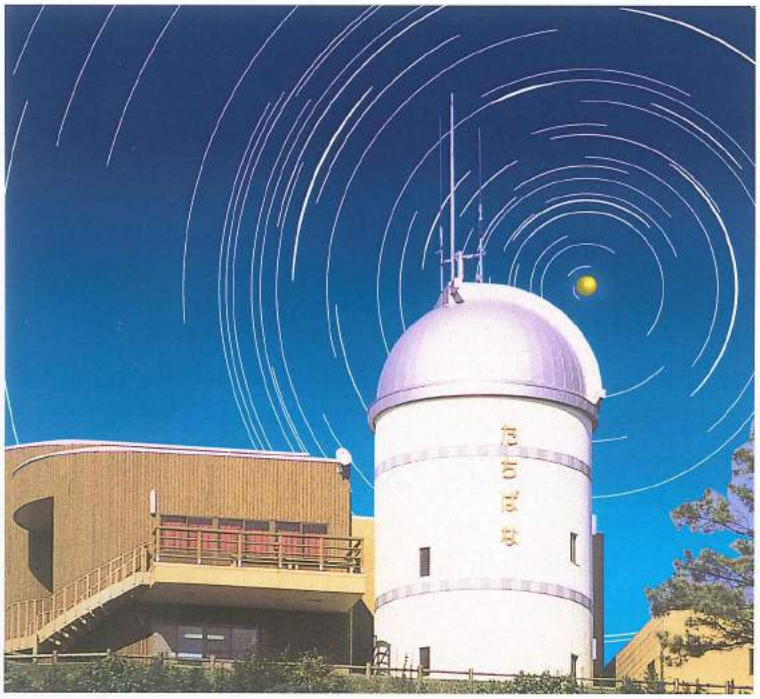
高崎地区地域福祉計画　　平成２７年度改定版

キラキラ星プランたかざき

～星も町も人もキラキラ“ありがとう”があふれる安心・安全のまちづくり～



星の町キラキラ輝くたちばな会

高崎地区地域福祉計画
キラキラ星プランたかざき

発 行 年 月：平成２８年３月
編集 ・ 発行：高崎地区社会福祉協議会

あいさつ

～誰もが健康でやすらぎのある地域社会を築くために～

高崎地区地域福祉計画の見直し策定にあたり、６地域の住民福祉座談会をはじめ、計画づくりの学習会やアンケート調査の実施では小学生、中学生、一般の方、特に地域福祉座談会においては、多くの住民参加をいただき誠にありがたく感謝するものです。また、この策定作業では、高崎地区地域福祉評価委員・事務局の方々誠にありがとうございました。素晴らしい福祉活動計画が策定されたと思います。

今後は、住民一人一人が手を携えて住み慣れた地域の中で助け合い支え合いながら誰もが健康でやすらぎのある地域社会を築くため、地域福祉の推進に努めたいものです。

まさに、地域を拠点とした住民及び関係者・行政が協働して、保健・医療・福祉・教育等の連携による地域福祉を推進していくための総合的な施策の展開であります。この計画が、住民の地域福祉活動を支援すべく住民が身近な地域で、福祉活動を実践していくための具体的な指標になるものと考えます。

さらに、都城市地域福祉計画と高崎地区地域福祉計画の活動をもとに行政と高崎地区社会福祉協議会がさらなる連携を図りながら、町民が主役の地域福祉活動の展開が図られるものと大きな期待をするものです。

最後に自助・近助・共助・公助のもと、自分でできることは自分で、住民同士の相互扶助、近隣同士のささえあう地域づくりを期待します。

高崎地区社会福祉協議会
会長　村吉昭一

～住み慣れた高崎地区の将来のため～

高崎地区においては、平成２０年４月に地域福祉計画が策定され、福祉事業を進めてきましたが、その後の少子高齢化・人口の減少等社会情勢が変化し、高齢者の孤独死、悪徳商法等の特殊詐欺等が発生し、安心して暮らせる環境が破壊されるようになりました。このようなことから、当地区においても現状にあった計画を作ることになり、自治公民館長・教育・産業・文化等各分野の機関・団体の代表１２名の委員と事務局や行政機関の担当者により計画策定を進めてきました。

策定にあたっては、地域福祉座談会や小中学生・一般の人達へのアンケート等を実施し、幅広い意見をベースに討議がなされ、住民主体の計画策定となりました。各委員の皆様には責任を痛感していただき、多忙の中、献身的なご協力を受け賜り、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

最後に、今回の計画が絵に描いた餅に終わることなく、地域の皆様が十分内容を理解され「自分の町は自分で守り、住み良くしていくこと」をモットーに共助・協働の姿で日常的に取組み「明るく安全安心な福祉のまちたかざき」が築かれることを祈念しております。

高崎地区地域福祉計画評価委員会
委員長　小田英敏

目次

○　あいさつ
○　高崎地区地域福祉計画評価委員会　・・・・・・・　1
○　計画見直し経過　・・・・・・・・・・・・・・・・　2
○　高崎地区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・　3
○　市の計画と地区の計画との関係　・・・・・・・・　7
○　高崎地区地域福祉計画の体系図　・・・・・・・・　8
○　１．場づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
○　２．自然環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
○　３．情報・サービス　・・・・・・・・・・・・・・１５
○　前田地区の現状とこれから　・・・・・・・・・・１７
○　大牟田地区の現状とこれから　・・・・・・・・・１８
○　東霧島地区の現状とこれから　・・・・・・・・・１９
○　縄瀬地区の現状とこれから　・・・・・・・・・・２０
○　江平地区の現状とこれから　・・・・・・・・・・２１
○　笛水地区の現状とこれから　・・・・・・・・・・２２
○　アンケートに寄せられたご意見　・・・・・・・・２３

高崎地区地域福祉計画評価委員会

高崎地区地域福祉計画評価委員会メンバー紹介

（評価委員会委員）　評価委員長:◎　（作業期間 平成27年6月15日～平成28年3月31日）

	氏　名	役　職	備　考
1	◎小　田　英　敏	高崎地区民生委員児童委員協議会会長	高崎地区社協副会長
2	村　吉　昭　一	高崎地区自治公民館連絡協議会会長	〃　会長（大牟田地域公民館長）
3	刀　坂　俊　博	高齢者クラブ連絡協議会長	〃　副会長
4	丸　田　公　舟	前田地域公民館長	〃　理事
5	堂　園　秀　樹	東霧島地域公民館長	〃　理事
6	段　　秀　敏	縄瀬地域公民館長	〃　理事
7	東　　純　孝	江平地域公民館長	〃　理事
8	春　村　光　行	笛水地域公民館長	〃　理事
9	園　木　厚　行	高崎町ボランティア連絡協議会副会長	〃　理事
10	大　迫　　勉	高崎町商工会長	〃　理事
11	池　田　和　輝	高崎地区小・中学校長会代表	〃　理事（高崎麓小）
12	丸　山　伸　也	地区 PTA 連絡協議会長	〃　理事（高崎中）
（行政担当課）			
13	鈴　木　隆　行	都城市役所高崎総合支所市民生活課長	
（評価委員会事務局）			
14	今　西　フヂ子	高崎地区社協事務局長	
15	鈴　木　いづみ	高崎地区社協事務員	
16	児　玉　　誠	都城市社協高崎支所長	
17	内　田　文　子	都城市社協高崎支所主事	
18	下ノ薗　康　浩	都城市社協高崎支所事務職員	
19	園　田　久　雄	都城市社協高崎支所事務職員	

計画見直し経過

～高崎地区地域福祉計画の見直し～

２０１５．６月　計画づくりのための学習会（6/15）
７月　アンケート調査の実施（～８月：小学生/中学生/一般）
７月　地域福祉座談会（7/10：第１回大牟田地域）
７月　第１回評価委員会（7/13）
７月　地域福祉座談会（7/17：第２回大牟田地域）
７月　地域福祉座談会（7/21：第１回縄瀬地域）
７月　地域福祉座談会（7/22：第２回縄瀬地域）
８月　地域福祉座談会（8/4：笛水地域）
８月　第２回評価委員会（8/17）
８月　地域福祉座談会（8/27：前田地域）
９月　地域福祉座談会（9/3：東霧島地域）
９月　地域福祉座談会（9/26：江平地域）
９月　第３回評価委員会（9/24）
１０月　第４回評価委員会（10/26）
１２月　第５回評価委員会（12/14）
２０１６．２月　計画書編集確認作業（2/15）

住民福祉座談会

住民福祉座談会では、それぞれの地域で問題になっている様々な課題を出していただきました。

↓評価委員会の様子

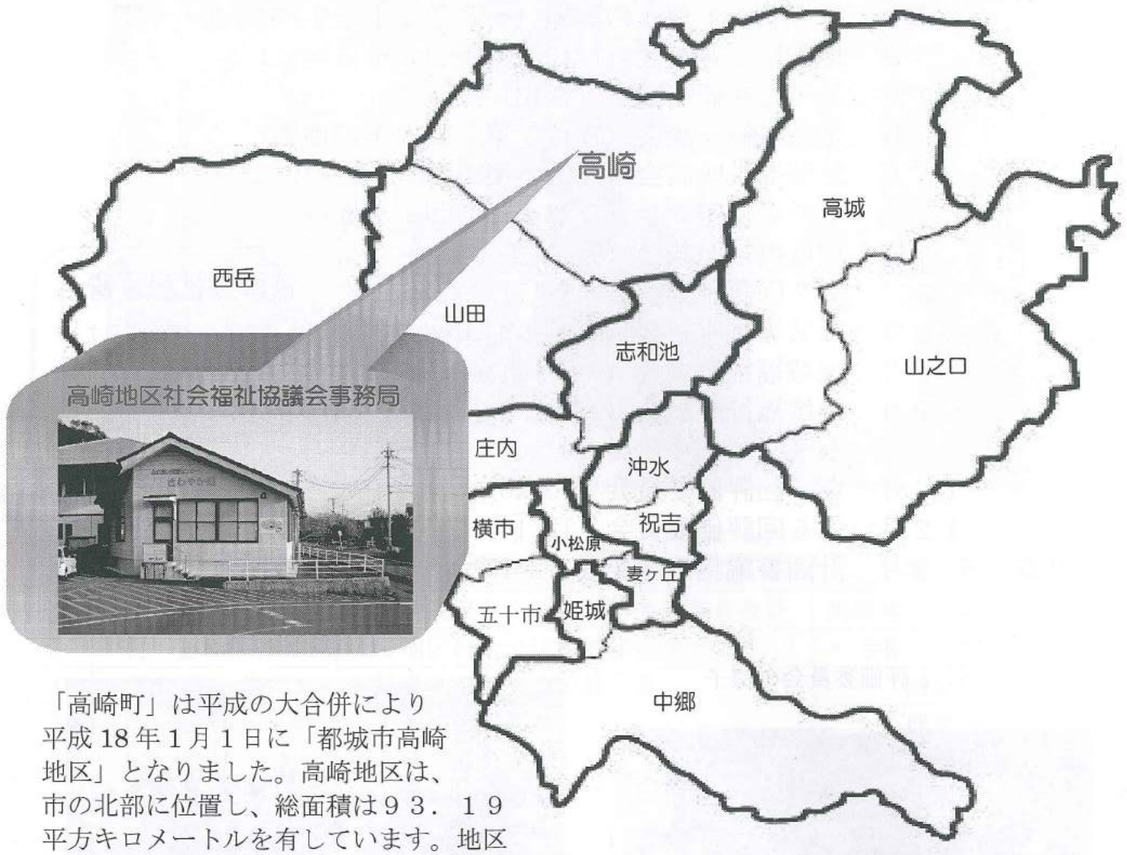
↓座談会の様子

↑大牟田地域座談会の様子（46名参加）

キラキラ星プランたかざき 見直し完成
（高崎地区地域福祉計画）

高崎地区の概要

高崎地区の位置



「高崎町」は平成の大合併により平成18年1月1日に「都城市高崎地区」となりました。高崎地区は、市の北部に位置し、総面積は９３．１９平方キロメートルを有しています。地区の北部は高原町に、北東部は小林市野尻町に接しており、大淀川水系の高崎川や岩瀬川が育んだ森林５３％、農用地２９．７％の緑豊かな土地です。

また、地区の西部を国道２２１号線とＪＲ吉都線が南北に走り、地理的条件から北諸県郡と西諸県郡を結ぶ交通。産業の要衝として栄え、現在では都城市、小林・西諸県地区を加えた比較的広い生活圏を形成しています。

地区の産業は農業が中心で、畜産、稲作、露地野菜、ハウス園芸など農業の振興が図られてきました。昭和２５年に御池用水の水利使用権を取得した先人の知恵が、水利の恵みをもたらしてくれました。

高崎地区は、環境庁が実施した星空のきれいな街コンテストで過去７回、「日本一星空のきれいな街」に選ばれました。これを契機に、たちばな天文台の建設、銀河シールなどの商工会の取り組み、そして具材を星型に切って北斗七星をイメージした高崎名物“北斗鍋”など、行政、地区が一体となった取り組みで“*高崎といえば星*”というイメージを確立しました。

“星”は高崎地区の共通のシンボルであり、この地域福祉計画を策定するにあたっても“星”は欠かせないキーワードとなっています。

高崎の人口と高齢化率

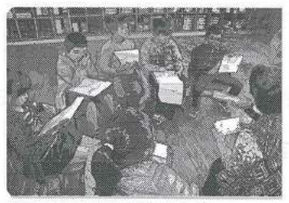
○高齢化等の状況

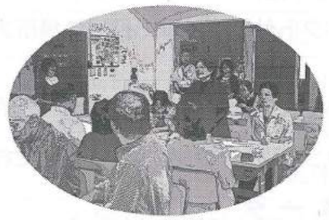
高崎地区は人口減少率が市内１５地区の中で最も早く、以前１万７千人台であった人口も平成２５年末には４桁台に突入しました。高齢化率 40.20%は西岳地区についで市内２番目に高い数値を示しています。また、少子化率も市内１４番目という低い順位となっており、少子高齢化とともに過疎化が進んでいます。

◇ 高崎地区の人口 ◇　　（平成２８年 1月 1日現在）

地域名	世帯数	人口	性別	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上	75歳以上	高齢化率
前田地域	664	1,379	男	48	380	232	114	35.15%
			女	33	359	327	223	45.47%
大牟田地域	1,805	4,057	男	270	1,056	593	290	30.90%
			女	248	1,061	829	526	38.77%
東霧島地域	283	613	男	20	142	116	55	41.72%
			女	22	161	152	103	45.37%
縄瀬地域	900	1,856	男	79	484	320	161	36.24%
			女	67	456	450	278	46.24%
江平地域	558	1,220	男	55	309	215	118	37.13%
			女	57	298	286	183	44.61%
笛水地域	163	369	男	8	103	71	33	39.01%
			女	15	94	78	54	41.71%
合　計	4,373	9,494	男	480	2,474	1,547	771	36.69%
			女	442	2,429	2,122	1,367	43.70%
			計	922	4,903	3,669	2,138	40.20%

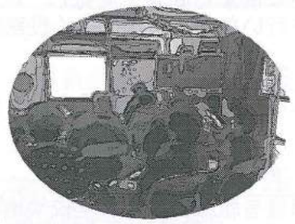
地域福祉活動の取組み状況


昔を語る会

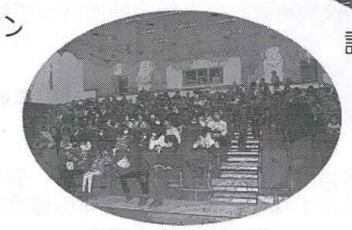

介護者のつどい

こけないからだづくり体操

夏休み寺子屋サロン


認知症学習会

健康づくりサロン


福祉映画まつり

ボランティアまつり

～社会資源の紹介～

○「社会資源」とは・・・

地域を構成する全てのものであり、よりよい暮らしを営むために必要なものであると言えます。社会資源には人や団体などの「人的資源」、施設や設備などの「物的資源」のほかに、資金や諸制度なども社会資源としてあげられます。

人的資源

☆彡自治公民館長

自治公民館は、地域住民の総意によって事業を行う「住民自治の場」であり、教育と生活の接点の場として、人づくり・地域づくりの組織的な対応を図る拠点となる施設です。
そうした施設の代表として事業の先頭に立ち指揮・指導をされるのが自治公民館長です。

☆彡民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域から推薦され、厚生労働大臣から委嘱される、身近な地域の相談役です。常に地域住民の立場に立って社会福祉に関する相談を受けます。

☆彡地域ボランティア

地域において「あたたかい思いやりの心」を持ち、そこに住む住民同士がお互いに助け合い、支え合い、励ましあって住みよい地域になるよう、先頭にたってボランティア活動を行います。

☆彡福祉協力員

自治公民館長や、民生委員・児童委員など近隣の支援者と連携を取りながら、見守りが必要な方の情報をキャッチし、地域でより良い生活がおくれるようお手伝いをします。

☆彡生活援助員

高齢者が、介護の要る状態にならないよう、「軽度生活援助事業」という制度の中で日常生活の援助を行います。

☆彡移送ボランティア

重度の障がいのあるかたを、リフト付の乗用車で目的の場所まで移送するボランティアです。

☆彡高齢者クラブ

高齢者同士の親睦を図りながら、生きがいを高め、健康づくりや介護を予防する活動を行う自主的な高齢者の組織です。
地域を豊かにするために、ボランティア活動なども積極的に行っています。

☆彡地域福祉コーディネーター

地域の福祉に関する問題を発見し、地域の人や物、関係する機関や団体等と連絡調整を行いながら解決に導く役割を担う人です。

☆彡体育協会

地区内のスポーツ振興を進めるとともに、チャリティーゴルフなども開催しています。

☆彡ＰＴＡ連絡協議会

子どもの保護者組織として、学校や地域支援を組織的に行っています。

☆彡商工会

地域の事業者が業種を超えて、お互いの事業や地域の発展のために、総合的な活動を行います。

☆彡まちづくり協議会

地区住民及び各種団体等が連帯強調して事業活動を展開し、安心で安全な住みよい地域社会づくりを目指すために、社会教育のみならず福祉、健康、青少年の健全育成等地域活動の推進を図ることなどを目的に活動を行っています。

☆彡学校運営協議会

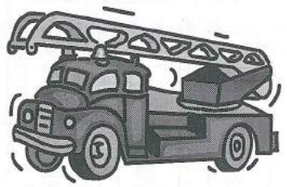
小・中学校全校に設置し、積極的な支援体制を各校に確立することにより、学校・家庭・地域社会が一体となって学校づくりに取り組み、地域に開かれ、地域に支えられる学校（地域の中の学校）づくりに資するとともに「まちづくり」の一助とし、地域が抱える様々な課題（例えば学力向上や生徒指導、コンプライアンス、防災教育の推進等）を、地域と深く関わりながら解決していくことを期待されています。

高崎地区には、まだまだ"宝"がいっぱい！

物的資源

☆彡建　物（施設）、制　度（機関）

建　物（施設）名	電話番号	建　物（施設）名	電話番号
都城市役所高崎総合支所	62-1111	前田地区公民館・児童館	62-0542
高崎福祉保健センター	62-4455	大牟田地区公民館・児童館	62-1111
高崎老人福祉館（社協高崎支所）	62-1216	東霧島地区公民館・児童館（東霧島地区多目的集会所）	62-5075
ふれあい交流センターさわやか館	62-1548		
都城市山田・高崎地区地域包括支援センター	45-8411	縄瀬地区公民館・児童館（縄瀬地区活性化センター）	62-0319
縄瀬保育園	62-3772	江平地区公民館・児童館（江平地区農村改善センター）	62-0543
大牟田保育園	62-1989		
前田保育園	62-1996	笛水地区公民館・児童館	62-0539
鳴峰保育園	62-2127	ラスパたかざき温泉交流センター	62-5526
旭保育園	62-4106	たちばな天文台	62-4936
善長寺保育園	62-2125	たちばな北斗ハウス	62-5077
高崎小学校	62-1207	高崎総合体育館	62-4448
高崎麓小学校	62-2124	大牟田地区体育館	－
江平小学校	62-3770	高崎パークゴルフ場	45-8600
縄瀬小学校	62-3771	高崎教育集会所	62-3158
笛水小中学校	62-4634	笛ヶ水教育集会所	62-4575
高崎中学校	62-1108	大牟田農産加工センター	62-5016
こども１１０番おたすけハウス			
都城市消防局北消防署高崎分署・消防団１部～６部	62-2120		



市の計画と地区の計画との関係

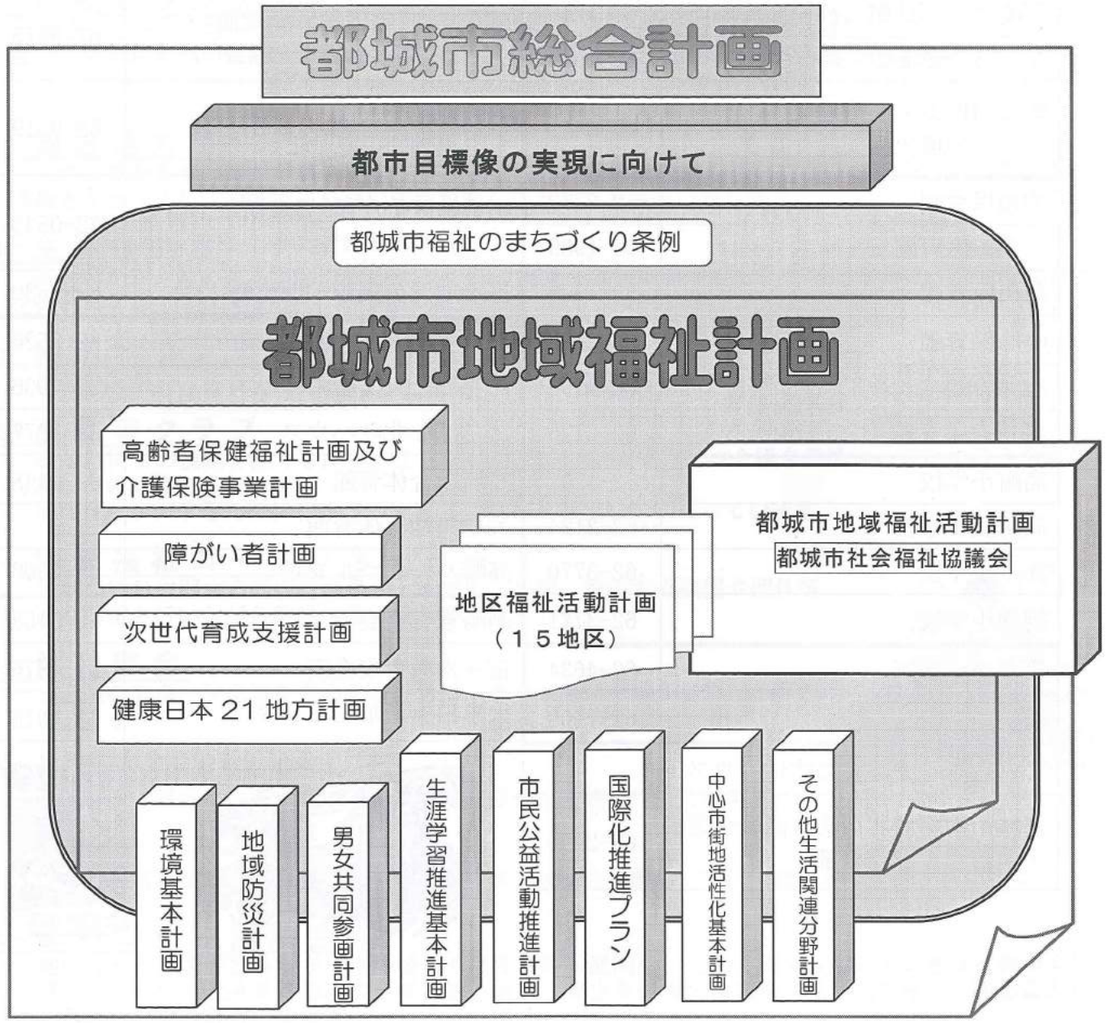
【地域福祉推進における各種計画体系図】

都市目標像：市民の願いがかなう南九州のリーディングシティ

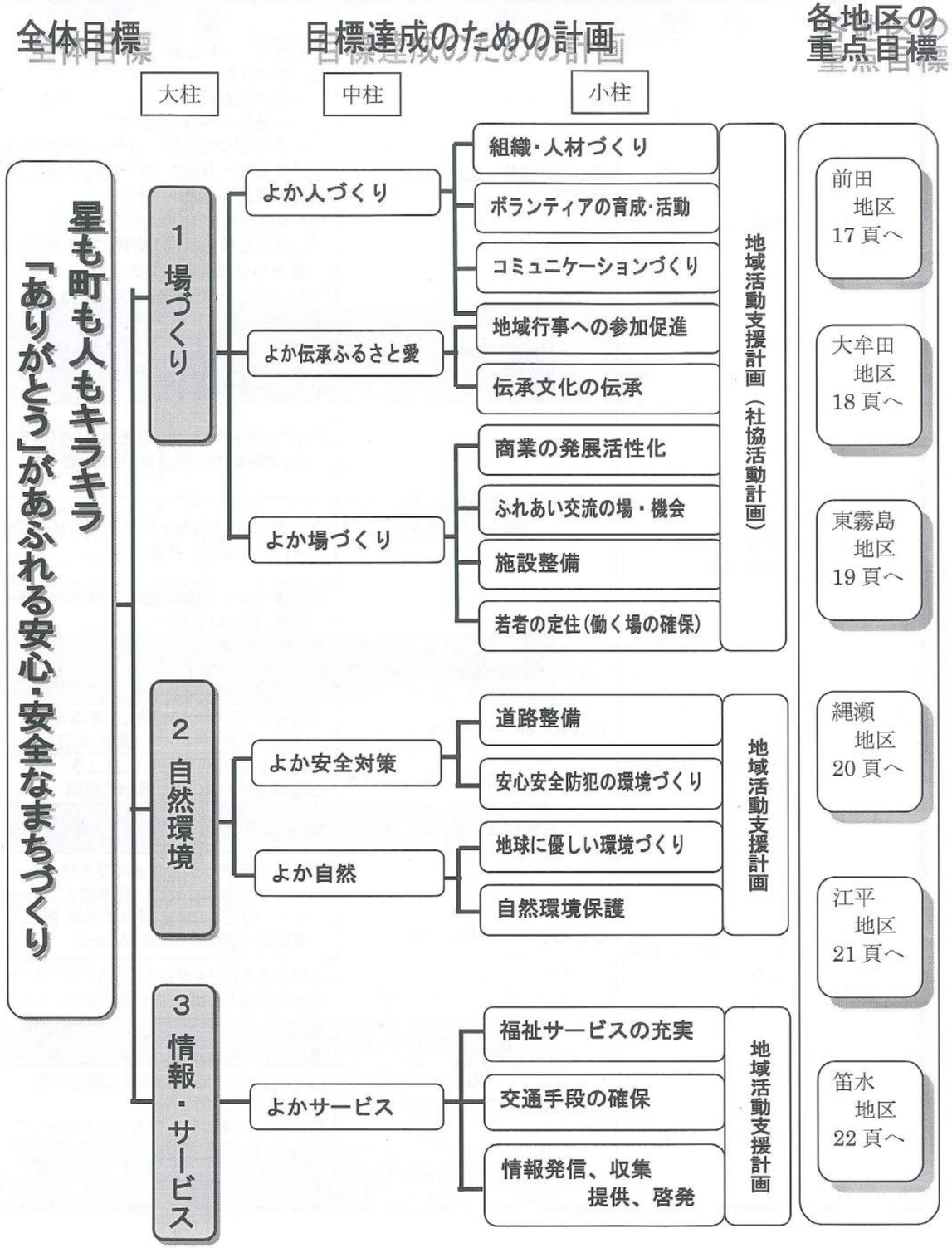
●基本構想
・市民が主役のまち ⇒
・ゆたかな心が育つまち ⇒

●基本方針
・『きょうどう』のまちづくり
・思いやりのやさしい気持ちが支える健やかなまちづくり

●基本施策 ⇒ 高齢者福祉、障がい者福祉の充実
・子育て支援の推進
・健康づくりの推進
・地域福祉の推進



高崎地区地域福祉計画書の体系図



1. 場づくり（大柱）

まず → つぎに → そして

中柱	小柱	項目	第1段階	第2段階	第3段階	もっと先の夢
よか人づくり	組織・人材づくり	○公民館組織を充実させよう	○公民館加入を近隣の人に呼びかけよう ○公民館活動を知ろう ・組織の実態調査 ○公民館加入へ導く体制づくり ・行政の窓口での転入者等への呼びかけ ○募金活動への協力（社協会費、共同募金）	○公民館組織の再編 （広報部、女性部、福祉部を作る） ○有償ボランティア活動の展開（福祉部）	○自分たちで情報発信をする（広報紙を作る）	○安全、安心、明るい町
			○町の運動会を継続させる ○住民に地区の公民館長を知らせる ○公民館活動の状況を館員に知ってもらう （各自治公民館の官報の発行） ○福祉協力員の積極的活用と活動支援	○公民館の次世代リーダーの育成	○意識改革のための研修会等の実施（地域福祉推進大会等）	
		地域活動を支援する計画	●座談会を実施し、推進組織作りの啓発に取り組む ●福祉部の組織化を促す ●助成金等で財政支援	●ボランティア養成講座の実施		
	ボランティアの育成・活動	○できることからはじめよう「ボランティア活動」	○ボランティアセンターを活用しよう（ボランティア活動の実態調査、啓蒙、啓発）	○ボランティアの日を決めて身近なところで気軽に活動する（月1回） ○財源の確保 ・バザーで収益を図る ・スポンサー（企業、個人）を見つける ○協力者を増やす（こども110番の登録など） ○のぼり、ステッカーをつくる	○公民館組織の再編 （ボランティア部を作る）	○あいさつがすべてにつながる明るいまち ・交流につながる ・防犯につながる
			○今やっている活動を続けよう（スクールガード、こども110番等）			
			○各種サロン活動の取組み（高齢者、親子児童、障がい者等）	○ふれあいいきいきサロンでの他世代交流		
		地域活動を支援する計画	●ボランティアの育成 ●ボランティア講座の実施 ●福祉部の組織化を促す	●情報の発信	●月1回程度の定例実施を促す	
	コミュニケーションづくり	○元気なあいさつをしましょう	○自分から声かけの推進（隣近所） ・広報、啓発（ポスター、標語、のぼり）	○公民館の活性化	○もえの復活につなげましょう	
		○思いやりの気持ちを育てましょう	○大人からのあいさつをしましょう ○地域全体であいさつ運動の展開			
		地域活動を支援する計画	●標語の募集	●スクールガードの育成		○全国に発信する ○「地域芸能フェスティバル」（全市）の開催
	地域行事への参加促進	○みんなでつくる地域行事	○地域の行事への参加を呼びかけよう ○みんなが参加しやすい行事のメニューを検討（子どもの参加、親子で参加）祈念、十五夜祭、運動会、六月灯、おねっこ	○まちづくり協議会との連携・協働	○公民館組織の再編 （イベント部を作る）	○（仮称）福祉人材センターの設置（有償ボランティア） ⇕ ○公民館福祉部との連携
			○現在ある祭りを継続させよう ○学校運営協議会との協議・連携	○発表の場を設ける ・個人、団体	○地域の行事として位置づけをする ・行事カレンダーを作成する	
		地域活動を支援する計画	●委員会等の組織化促進 ●助言、広報	●人材バンクの作成	●福祉部の組織化 ●月1回程度の定例化を促す	
よか伝承ふるさと愛	伝統文化の伝承	○後継者づくりをしましょう ○郷土芸能保存活動を強化しましょう	○学校、PTA、地域の行事と連携する ○調査、研究、学習 ○地区公民館の竹細工教室の活用	○親子三代交流を行う ○保存会を作る	○発表の場を設ける	
		地域活動を支援する計画	●様々な保存会が活性化するような企画を提案	●人材の発掘		

1. 場づくり（大柱）

まず → つぎに → そして

中柱	小柱	項目	第1段階	第2段階	第3段階	もっと先の夢
よか場づくり	商業の発展活性化	○町内で「もの」を買いましょう（商店を活用しよう） ○地元産品の発信 ○地産地消（季節ごとの）	○宅配事業等の啓蒙、啓発	○新しいサービス、既存の見直し（宅配メニュー作成） ○高齢者や障がい者が利用しやすい工夫（お店のバリアフリー化や盲導犬などの立ち入り等）	○移動販売車 会員増、ヘルパー・民生委員の活用 （事業所の連携）宅配見守り 販売場所（スペースの確保）	
			○調査、研究（何が売りか） （誰をターゲットに・会員をふやす）	○ホームページ作成	○地元出身者への発信	
			○商工会とホームページ作成について協議（JAとの連携を含めた話し合い・お中元・お歳暮等）	○マップ作り（販売所）	○町内、市内、市外に配布する	
			○産物の調査（推進委員会を作る） ○空き店舗・空き部屋等を利用し集える場を作る ○ふれあえる場所の調査	○町の特産物を食べる ○地産地消の日（月1回）を作る ○六次産業化を図る ○産物の提供（販売所） （軽トラ市、花火を上げる） ○空き室の利用（身近な場所） ○公民館の活用	○学校給食に使う ○地元の産物を使った料理コンテスト開催 ○運営のためのボランティア育成（組織をつくる） ○活動メニュー（プログラム）の検討	○自治公民館を中心に（地域コミュニティを大切に）
	ふれあい交流の場・機会	○ふれあい交流を深めましょう	○既存のイベント利用 （異世代間のパークゴルフ大会など） ○伝承活動（工作など）を行う ○ボランティアで訪問活動（花の配布、施設） ○さわやかサロンの地域巡回 ○夏休み寺子屋サロンの実施	○イベントを全ての世代間交流に		○販売所等で軽食できる場所の確保
		地域活動を支援する計画	●サロン事業の推進	●特産品のブランド名を募集する ●他世代間のサロン実施		○高齢者を支援者に
	施設整備	○空き家の活用を考えよう ○学校の余裕教室を利用しよう	○空き室、余裕教室の利用・調査	○関係機関との協議、先進地の取り組みを知る	○人の駅をつくる （健康器具や喫茶コーナー等） ○空き教室を利用した生涯学習講座 ○誰もが集える場（たまり場）の設置 ○空き家の若者定住のための整備 （Iターン、Uターン者への住居確保含む）	○絵（作品）展示、駅舎図書館、駅舎風呂
			○駅舎を利用しよう	○使える仕組みづくり	○公共の場をきれいに使うための啓発を行う（ごみを捨てない）	○特色ある学校づくり ○人の定住
		地域活動を支援する計画	●学童サロンの実施 ●関係課との調整	●協力機関の開拓 ●広報	●後方支援	
	若者の定住（働く場の確保）	○若者が元気なまちづくり	○調査（若者の興味あるもの） ○講座等を行いアンケートする	○研修 ○子育て支援の充実	○イベント、企画づくり、出会いの場づくり（組織作り）	
			○見守り施策 ○婚活支援（アドバイザーの設置）	○お助け弁当（地産地消）	○リーダーの養成、産物の研究	
			○学習する	○起業家の育成	○働く場の確保	
		地域活動を支援する計画	●他地域の成功事例などの情報収集	●講師の紹介 ●情報分析		

2. 自然環境（大柱）

まず → つぎに → そして

中柱	小柱	項目	第1段階	第2段階	第3段階	もっと先の夢
よか安全対策	道路整備	○みんなが安心して通れる「道」をつくりましょう	○危険箇所の調査 ○自分たちでできる範囲の作業 （草刈り、ゴミ拾い）	○分析評価のための協議の場を設ける ○地域で整備する（簡易整備の地区対応）	○計画的な道路整備が進む	○事故のないまちづくり
			○関係課の連携で必要な整備	○オンブズマン制度 ○行政へのハード整備の要望（歩道、街灯、側溝のふた、点字ブロック、信号、階段の手すり等）		
		地域活動を支援する計画	●スクールガードの実施啓発 ●財源確保のための調査			
	安心安全防犯の環境づくり	○地域全体の組織を作りましょう	○認知症予防などの講習会への参加 ○交通ルールやマナーに対する意識づけ （福祉啓発ポスター等の作成、掲示）	○地域の団体に呼びかける	○公民館での自主防災訓練	○全地域への見守りネットワークの確立
				○家庭及び近隣での防災の意識付け		
		○交通意識を高めましょう	○防災グッズ等の学習会（公民館配布の防災機器やAED，救急法等）	○公民館、団体、ボランティアに呼びかける ○個人情報共有のための協議 ○見守り活動に取り組む （高齢者等見守りネットワークの構築） ※孤立死防止、悪徳商法被害防止など	○スクールガードの強化・青色回転灯をつける ○夜間パトロールの実施	
		○防犯意識の啓発をしましょう	○調査・研究・学習 （危険個所や見通しの悪い場所等） ○のぼり旗、看板を掲げる		○個人情報の共有（本人承諾のみ）	
					○こども110番の活用	○自主防災連絡協議会の設立
		地域活動を支援する計画	●スクールガードの実施啓発 ●夜間巡回を呼び掛ける	●災害ボランティアの育成		
よか自然	地球に優しい環境作り	○ゴミ処理意識を高くもちましょう	○関係課の連携で必要な整備 ○リサイクルを行いましょう （家庭でできるエコバッグ等） ○回収業者、ボランティア、公民館での連携をとる	○チラシで具体的にわかりやすく呼びかける	○看板の設置	○防犯ネットワークの確立 ○循環型の社会 ○後世に残そうきれいな自然
		地域活動を支援する計画	●勉強会を企画する ●チラシを作成し配布する	●高齢者クラブ等にエコバック（小物作り）研修 ●ボランティア体験事業の実施	●エコ大会開催の呼び掛け	
	自然環境保護	○植樹と花いっぱい運動をしましょう	○学習（作業手順等、有識者の話を聞く）	○広報啓発	○EM 菌利用	
				○苗床つくり	○植樹、発表会、配布	
		○河川をきれいにしましょう		○ボランティアの育成	○環境美化ボランティア活動 ○稚魚の放流	
		地域活動を支援する計画	●「大淀川サミット」等のイベントに参加し学習してもらう ●財源確保のための調査	●花いっぱい運動の呼び掛け ●体験プログラム開発実施		

3. 情報・サービス（大柱）

まず → つぎに → そして

中柱	小柱	項目	第1段階	第2段階	第3段階	もっと先の夢
よかサービス	福祉サービスの充実	○公的サービス予算を有効に活用しよう	○現状の把握・調査・分析 ○こけないからだづくりやかくしゃく百歳運動などの介護予防活動への積極的参加	○オンブズマン組織（外部評価委員会）を作る	○福祉施策への提言（介護施設や福祉センター、障がい者トイレの増設等） ○医療と介護の連携の強化が進む（地域包括ケアの確立）	・福祉情報誌の発行
				○身近な相談所（サロン等）を設ける		
		○住民が福祉サービスを受けやすい環境をつくろう	○専門職の活用（民生委員、施設職員他） ○現在のサービスの周知 ○地区社協の「ふれあい相談」の積極的活用 ○高齢者等へのおむつ配布事業 ○軽度生活援助事業の活用 ○有償ボランティア「ぽかぽかサービス」の周知及び利用推進	○住民に対する介護技術の講習、研修会の実施（住民参加型の生活支援サービスの展開）		
		地域活動を支援する計画	●広報、アンケート ●地域めぐりでの課題把握（アウトリーチ）	●地域生活支援会議への関係機関調整		
	交通手段の確保	○交通手段の確保（通院・通学・生活など）	○現在のサービスの継続 ・乗合タクシー、福祉タクシー、JR ○実態の把握・調査・分析	○関係機関との協議、先進地の取り組みを知る	○福祉施策への提言（子供、高齢者、障がい者専用の無料バスの導入等）	
			○現在のサービスの利用状況を調査			
		地域活動を支援する計画	●マップ作り ●広報、アンケート ●有償運送サービスのPR			
	情報発信、収集、提供、啓発	○地域の情報を発信しよう	○地域の情報を・調べる・集める・相談窓口・ボランティア・人材	○高崎町の情報を発信する→町内外へ（チラシ・インターネット・ホームページ）		
		地域活動を支援する計画	●勉強会の実施 ●情報の収集 ●ボランティアの育成	●福祉教育の推進		

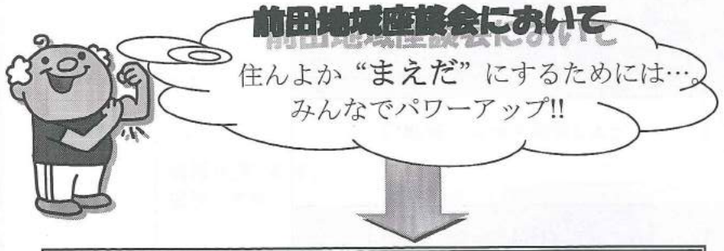
前田地域の現状とこれから

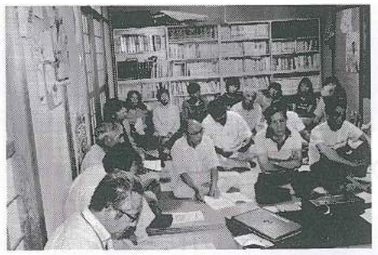
☆ 前田地域の住みやすさ ☆

・自然がいっぱい
・２か月に１回誕生会を開催
（昔懐かしいお菓子を手作り配布）
※今後は来れない人にも配布予定、高齢者クラブの物品販売
（カレーやそうめん）と会費が財源
・気軽に声を掛け合えるところが良い

前田地域の住みにくさ（地域の課題）

・高齢者の方の出席がない（当夜）（当事者不在で協議してもどうか）
・誕生会などの事業を開催する財源不足
・高齢者にもチャンスが欲しい
・高齢者が活動するのに移動手段がない（社協のバスなど活用できないか）
・周りに結婚していない人が多い
・公民館から抜ける人がいる（市営住宅）
・若者減少で地域の防災に不安





↑座談会の様子 32 名参加

住みやすくするためには・・・

・近所の見守りネットワークの構築（公民館でマップ作成中）
・高齢者の参加できる運動（こけないからだづくり等）への取組み
・かくしゃく百歳運動平日ではなく土日に開催
・婚活アドバイザーへの未婚者情報の提供
・空き家の活用
・市営住宅入居者への公民館加入の指導強化（行政協力）
・以前社協と取り組んだ防災マップの活用（地域利用や行政への危険個所の提言など）
・行政からいただいた防災グッズの使用方法を中心とした地域全体の訓練の実施

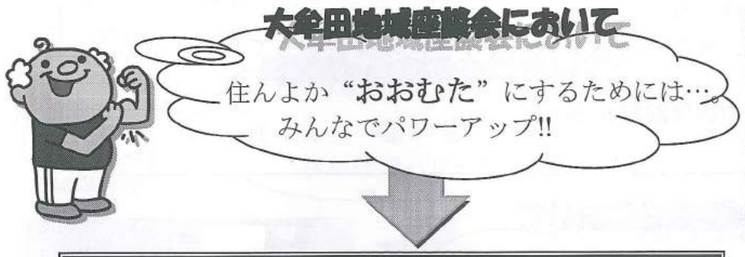
大牟田地域の現状とこれから

☆ 大牟田地域の住みやすさ ☆

・高崎の良さを知っている若い人がいる
・優しさ（素朴さがある）
・同世代の仲間がいる
・年代の垣根がない
・コンビニ、スーパーがあって便利
・街中は病院や学校が近い

大牟田地域の住みにくさ（地域の課題）

・地元に若い人の働く場がない
・企業の縮小化
・歩いて買い物に行けない
・空き家が 500 近くある
・バスの路線が少ない
・店が３０店舗ほどになった
・公民館行事が減った・空き家が増えた
・若者の働く場が少ない・妊婦を見かけない
・道路を横断しにくい、高齢者は怖い
・孤独死が今年２件あった
・悪徳商法が増えている



↑座談会の様子 79 名参加

住みやすくするためには・・・

・日頃から情報交換をして、地域の中で、協力し合って困っている人に手を差し伸べる（弱者を出さない）
・買い物に困る高齢者の支援を考える（移動販売、商店街の活性化等）
・自治公民館の絆を深める　・福祉部の活動を行う
・ネットワークづくり（認知症、サロン活動）
・日中独居高齢者への声掛けを行う
・高崎の素晴らしさを活かすことを考える　・ふるさと創生
・企業の誘致をする
・自発的に集まり茶飲みを楽しむ
・若者が帰ってきやすい町にすることを考える
・祭り、イベントで活性化（ぼんちくんなど）
・小さな地域で集まるサロンなどをあちこちにつくる

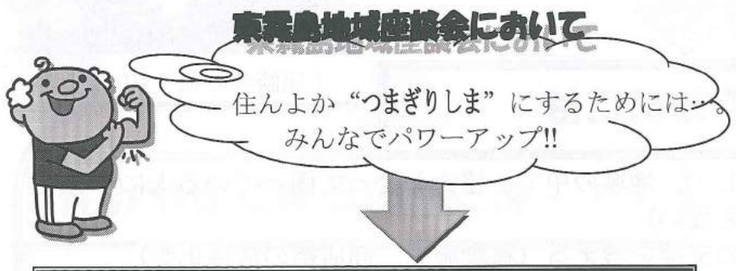
東霧島地域の現状とこれから

☆ 東霧島地域の住みやすさ ☆

- 公民館の仕事がしやすい
- 回ってみると楽しいと感じる
- 自然が豊か
- 幸せすぎて言うことなし
- 苦労をしながら助け合ってきた
- エイサー世界大会に行くことが楽しみ
- ２年前にボランティアグループを立ち上げて活動している（田中）
- サロン活動をしている

東霧島地域の住みにくさ（地域の課題）

- 小学校がない（かつては大東地区）
- 高齢者クラブが解散し２館になった（減少）
（東、権堀として門戸を開けて待つ）
- 土日の夜９時頃まで毎週、集会所で太鼓（エイサー）の練習をしており、うるさい
- 都城市は県内で２番目に介護保険料が高い



↑座談会の様子 35 名参加

住みやすくするためには・・・

- 高齢者クラブの設立を頑張る
- ボランティアを立ち上げて、見守り活動を行う
- 個人的に歩いている人も多く、「歩こう会」などの活動をしたらどうか
- 「集まる場所」があること
- みんなが参加できることを
- 地区の行事を続けていく（運動会など）

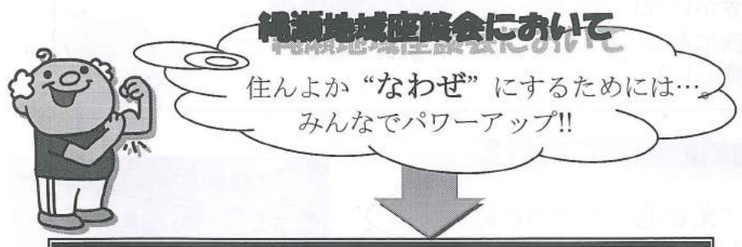
縄瀬地域の現状とこれから

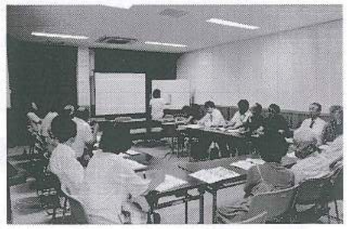
☆ 縄瀬地域の住みやすさ ☆

- 公民館行事でボランティアが声をかけるので高齢者が喜ばれる
- 声を掛け合って世間話ができる
- ４館とも福祉部が設立されている
- 食改推進の取組みが盛んである
- 自然に恵まれている
- ボランティアグループの活動がある
- 元気な高齢者が多い
- 一人暮らし者への近所で助け合いがある

縄瀬地域の住みにくさ（地域の課題）

- 買い物難民に対する支援として商工会の宅配があるが、行き届いていない
- 一人暮らし高齢者に参加の声掛けをしづらい（けがなどの心配がある）
- 班に入っていない世帯あり（奉仕作業、区費納入を嫌がる）若者の公民館加入離れ
- 道路、環境整備の担い手が不足している（高齢化で危険性あり）
- サービスを上手に利用できない高齢者がいる
- 店がなく買い物に行けない
- 個人情報保護の問題で踏み込めない
- 年を取って奉仕作業が大変
- 一人暮らしの人のゴミが溜まる
- 若い人の未就労が目立つ
- 団地の住民減少





↑座談会の様子 46 名参加

住みやすくするためには・・・

- 「見守り隊」など気軽に声掛けをするグループができると活動が広がる
- ボランティアに参加しやすい雰囲気づくりをする
- 高齢者が出て来れると元気になるので、出て来れる工夫をする
- 「やまねこのもり」は行政とも検討中である（猪、耕作放棄の問題）
- 館長を中心にマップ作成中でありできれば公民館に知らせる
- 花を植える
- 近所との連携が必要
- 料理教室
- 若者の定住を増やす（若い人の働く場所、子育てができる環境）
- 元気な高齢者が楽しくなることを考える
- 介護予防の体操教室の取り組み（かくしゃく１００歳、こけないからだづくり）やコミュニケーションを図ることが大事
- 地域のためにできることを自分達で考える（広報、啓発も含めて）

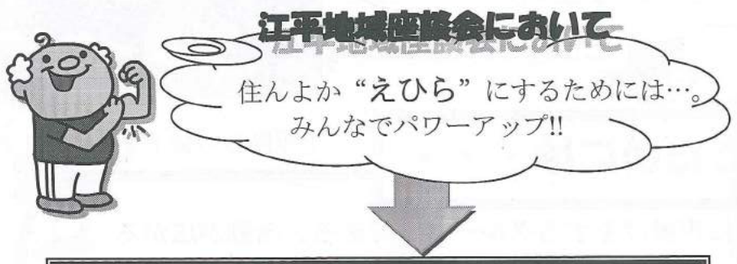
江平地域の現状とこれから

☆ 江平地域の住みやすさ ☆

・デイサービスができた・野菜がおいしい、豊富
・近所の人が親切に提供してくれる
・自然の中で年を重ねていけるので楽しく暮らせる
・地域の行事や子どものつながりで地域を知ることができる
・福祉部（公民館）が活動の中心になっている
・グランドゴルフ（土曜日）やかくしゃく100歳をしている
・木場城の活性化（遠足、由来伝承、祭り）
・人とのつながりがある、温かい

江平地域の住みにくさ（地域の課題）

・高齢化、人口減、子どもの減少で寂しい
・年代で区別をつけすぎているように感じる
・買い物が心配（行きにくい、店が少ない）
・バスの本数（回数）が少ない
・公民館行事を企画する若者がいない
・行事を減らそうという傾向にある
（無くすと復活させるのは難しい）



↑座談会の様子35名参加

住みやすくするためには・・・

・地域のイベントを多くして、地域を寄せて人を集めることで地域が一致団結する
・若い人が参加できる集まり（座談会など）の機会をつくる
・健康な体は食事から、高齢者の知恵を掘り起こす。若い人に伝える
・空き家や耕作放棄地の活用
・移動販売があるとよい
・小学校と地域のつながりを強くする
・木場城祭りを盛り上げる
・巡回バスがあるとよい

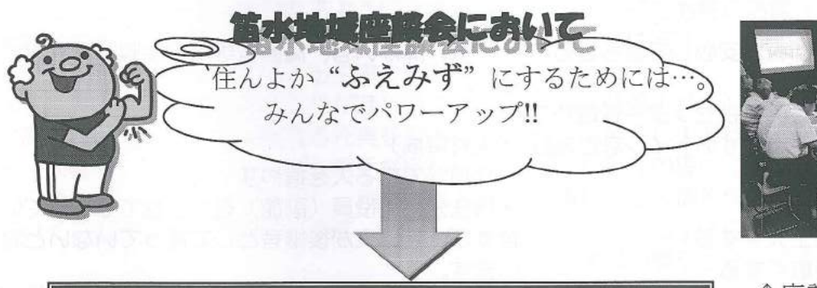
笛水地域の現状とこれから

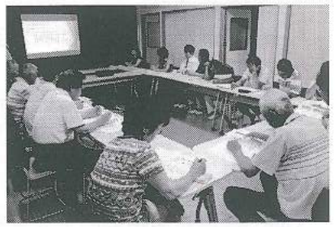
☆ 笛水地域の住みやすさ ☆

・福祉協力員がいる
・困った世帯を放っておけない人間性がある

笛水地域の住みにくさ（地域の課題）

・保育園の廃園（３年前）市は何もしてくれない
・一人暮らし高齢者の災害時の支援が必要
・一人暮らし高齢者宅への訪問へ不安がある（事故など何かあった時に）
・交通の便が悪い（乗合バスがあるものの便数が少ないので、ルート確保をして欲しい）
・公民館活動に不参加の人がいる（住宅で母子世帯　何かあっても助け合えない）
・孤立世帯がいる





↑座談会の様子23名参加

住みやすくするためには・・・

・認定こども園の在り方について（どう取り組むべきか）地域で何とかしたい
・福祉協力員、民生委員児童委員の肩書（役割）が地域を守る力になる（オレオレ詐欺や悪徳商法などの防止）
・災害時の支援を地域全体で行う（把握する）
・地域おこし協力隊との連携で高齢者のふれあいサロンをする（現在準備中）
・日頃からの声掛けや訪問が大事　定期的に回ること
・近助（近くで助け合う）
・公民館に加入しない人への働き掛けをする取り組みを

アンケートに寄せられたご意見

（助け合う）
・各地域で困っていることを話し合って解決する
・近所の仲を良くし、困っているときすぐ助けられるようにしておく
・困っている人を見かけたら声をかける

（交流する）
・子供、若者、高齢者、障がい者の交流を少しづつでもいいから増やしたい
・高齢者との交流を増やし、子供と交流することで、子供は高崎の歴史や昔の遊びなど知ることができ、お年寄りも子供と話をすることができ楽しみが増え、健康に暮らすことができる
・自分の近所の人たちとの交流の機会を増やす
・みんなで花を届けたり、地域の祭りなどをもっと大きな祭りにする
・ボランティアで老人ホームや保育園などを訪ねる

（優しくする）
・周りを気遣いながら常に生活する

（施設を作る）
・子供や障がい者、高齢者が安心して暮らせるホームをつくる
・障がい者、高齢者などの福祉センターを増やす
・障がい者、高齢者の使いやすいトイレなど施設を多くつくる

（町の建物や道路等に工夫をする）
・移動しやすく道路を広くする
・あかりを増やす
・側溝にふたを付ける
・階段にてすりを付ける
・歩道をしっかり整備し点字ブロックをつける
・歩道のないところに歩道をつくる
・目が見えない人のためにも、信号に「渡っていいですよ」という音を付ける
・道幅を広くし、陸上競技場付近の桜並木の道を平らにする
・子供、障がい者、高齢者が住みやすいようにバリアフリーにする

（清掃活動をする）
・地域の掃除をする
・歩道をきれいにする

（あいさつをする）
・あいさつ運動

（お店を増やす）
・お年寄りが立ち寄りやすいお店をつくる（バリアフリー化等）
・商店街を活性化させる（新しい店を入れる）
・盲導犬が入れるお店をつくる

（見守りをする）
・子どもが家に帰る時間帯に地域の見回りをする
・子ども１００当番を増やす
・８０歳以上で一人暮らしの家に、週１、月１で訪問する
・危険な所や見通しの悪いところをなくす
・夜パトロールする

（啓発活動）
・交通ルールなど安全に気を付けないといけない事についてのポスターを作る
・見て見ぬふりをしないようにしようみたいなポスターを貼る
・子供達に「ふくし」や「マナー」についてしっかり勉強させる

（移動支援）
・子供、障がい者、高齢者専用の無料バスを設ける

（人材育成）
・介護ができる人を増やす
・現在公民館役員（副館）をやらせてもらっていますが、若い人が後継者として育っていないと思います。
年輩の方が少し遠慮してリーダーを３０代、４０代の人にまかせてみると、色々変わってくると思います。
・地域に限らず弱い立場の人を助ける事は当たり前の事であり、すべての人が介護の知識を持ち、まったく見知らぬ人であっても手助けできる人間教育を行うべきである。

（啓発活動）
・有償ボランティアがあることを知らない人が多いので、地区社協が行っている色々なことを住民に分かるようにして欲しい。
・福祉活動を積極的に実施している地域の情報を紙面を通じて発信していただきたい(情報の共有)
・AEDの使い方や心臓マッサージ、人工呼吸のやり方を、小学生から教えるとよいと思う。
・福祉関係の講演会等もしてほしいです。

（ニーズ調査）
・一般の方々へアンケートを取ってみたらどうでしょうか。

（医療体制の充実）
・高齢になっても自宅で生活が送れて在宅医の充実が整えばいいと思います。

（活動への関心の薄さ）
・若い人が少なく、住民の関心が低いように思われます。
・地域で色々行事をしても出てくる方が少ない（足の問題もあると思いますが…）
・昔はおせっかい屋さんがいたけれど、今は自分だけが良ければ人の事はどうでもいい自分本位の人が多いように思います。だから、連携プレーがないように思います。
・地域の福祉活動が具体的にどのようなことを指すのかわかりません。

（福祉の充実への期待）
・さわやかサロンなど地域に回ってきてもらってなるだけ多くの方が出席できるようになるとよいと思います。
・少子化で子供の数も少なく出生率も低下しています。もっと、子育て支援とかがほしいですね。
・高齢者に対する支援の更なる充実を望みます。
・一人暮らしの老人に強い話し相手がほしいなど
・日頃から人と人とのつながり、声掛けを心掛けていくことが大切ではと思います。

（買い物支援）
・地域によっては大変な不便さを強いられていると思う。移動販売ができる体制づくりはできないものか。
・交通手段が多く、高齢者でも気軽に買い物に行けるようにし、歩道を増やす

（若者定住対策）
・高齢化や過疎を食い止めるため、子供の出生率を上げ定住してもらうことが大切だと思います。町内に就職口があれば一判良いでしょうが、それが無理ならせめて”住む”ということに焦点を置いて若者が住んでくれる環境作りが必要なのではと思います。空き家を整備したり、市営住宅を割安にして家賃負担を少なくして住んでもらう。
・子供の保育や病院のサポートを充実して子育て応援をする等、高崎町は住みやすく便利で安心な所と思ってもらえればと思います。

（地域福祉活動）
・まず公民館での福祉活動を一歩踏み込むことから始めたらいいのでは！（ふれあいいきいきサロンなど）
・地域づくりは人づくり。公民館活動を通じて、特に隣近所のお付き合いから声掛け、見守り活動にとつながっていく地域づくりが大切となっているように思います。
・行政が主体として関わるのではなく、地域に新たな活動提案をいただき、地元民、高齢者が興味を持って自主的に参加できる環境作りをして、自治公民館活動が活発化して後押しできれば全員参加に近づけるかと思います。（現状では参加者が限られているので、地元での工夫や福祉の輪を広げることが大事かも…）
・シルバー人材センターは宝の持ち腐れでもったいない。元看護師や調理師、大工、電気屋、その他現役だった頃の仕事をそのまま活かせるサービス提供をできる何かがあればいいんじゃないかと思う。（無償か格安で）そうすれば、現役引退者のためにもなるのではないか。
・各公民館に設置されている福祉部の活動状況がまばらである。平等性に欠けていると思うので、もう少し福祉活動に活躍するような指導が必要かと思っています。

（個人情報の共有）
・一人暮らしのお年寄りの場合、家族や近隣の住民が何らかの理由によって支援できない時等、お年寄りの個人情報を共有することは、活動支援していただける団体にとって必要不可欠であり、やむをえない事だと思います。
・それぞれの地域の中において、高齢者等の様々な課題に対応するためには、まず関係機関が密接に連携し情報を共有し問題解決に向けた活動を共に展開していくことが大切なことだと思うが、今はそれが上手くいっていないように思う。まず、関係構築のための様々な工夫を行うことから始めるべきである。

自然いっぱいの高崎町

社会資源マップ

発行：高崎地区社会福祉協議会

■行　政

❶ 高崎総合支所	☎62－1111
山田・高崎地区地域包括支援センター	☎45－8411

■社会福祉

❷ 都城市社会福祉協議会 高崎支所	☎62－1216
❸ 高崎福祉保健センター	☎62－4455
❹ ふれあい交流センターさわやか館	☎62－1548
❺ 特別養護老人ホーム高崎苑	☎62－5005
❻ 養護老人ホームたちばな荘	☎62－1155
❼ グループホーム海ちゃんの家たかざき	☎45－8385
❽ ミューズの空～高崎～	☎62－5335
❾ 有限会社ゆず	☎62－1007
❿ 指定通所介護事業所あすなろ	☎45－8327
⓫ 高崎町デイサービスセンター	☎62－1216
⓬ グループホームふれあい園	☎62－2340
⓭ ミューズの星～高崎～	☎62－4188
⓮ デイサービス弥栄	☎62－4233
⓯ デイサービスセンターきりん	☎62－2933

■保育園

㉕ 縄瀬保育園	㉖ 大牟田保育園	㉗ 前田保育園	㉘ 鳴峰保育園	㉙ 旭保育園	㉚ 善長寺保育園
☎62－3772	☎62－1989	☎62－1996	☎62－2127	☎62－4106	☎62－2125

■社会福祉

⓰ デイサービスふるさとの家	☎62－2200
⓱ デイサービスひなたば	☎45－8228
⓲ 企業組合居宅サービス　大地	☎45－8010

■病院・訪問看護

⓳ 隈病院	☎62－1100
⓴ 教山内科医院	☎62－1205
㉑ 佐々木医院	☎62－1103
㉒ 今西歯科クリニック	☎62－0108
㉓ 中崎歯科医院	☎62－5030
㉔ 花田歯科医院	☎45－8377